

# ユーゲント・フィルハーモニーカー 第4回福島公演

Jugend Philharmoniker in Fukushima 2024

# ただいま、福島。

2024年9月8日(日)

13時15分開場 / 14時00分開演

ふくしん夢の音楽堂 (福島市音楽堂) 大ホール

- R. シュトラウス / オーボエ協奏曲
- C. サン＝サーンス / 交響曲第3番ハ短調 Op.18 《オルガン付き》
- G. ホルスト / 組曲《惑星》より「火星」「木星」
- J. シベリウス / 交響詩《フィンランディア》

オーボエ独奏 福田有花 指揮 安斎拓志

全席自由 1000円

後援：NHK福島放送局、朝日新聞福島総局、全日本高等学校オーケストラ連盟、テレビユー福島、ふくしまFM、福島コミュニティ放送FMボコ、福島市教育委員会、福島中央テレビ、福島テレビ、福島放送、福島民報、福島民友、福島リビング新聞社、毎日新聞福島支局、読売新聞東京本社福島支局、ラジオ福島

ただいま、福島。

この言葉を皆様にお届けするのは今回が初めてではありません。

ユージェント・フィルが初めて福島での公演を行ってから7年の歳月が経ちました。福島県の出身者が数多く在籍している当団では「社会にオーケストラがどのように貢献していけるかを模索する」という理念に基づき、「アマチュアとしてオーケストラ活動を行うことの素晴らしさを若い世代の皆さんに紹介したい」、そんな思いから地元高校生との共演などを盛り込んだ公演をこれまでも企画して参りました。2017年から2019年までの3回に渡って開催した福島公演では累計1000名以上のお客様にお越しいただき、アンケートでは暖かいご支援の声とご好評をいただきました。2020年以降はイベントの開催も不自由な状態が続き、遠方での公演を断念してまいりましたが、福島出身ではない団員も過去3回の公演を通じてこの地への愛着を深め、「第2のふるさと」とも言える福島で演奏できる日を心待ちにしておりました。そして今回、5年ぶりに再び福島での演奏会を開催できるとなりました。

今回の公演では、昨今の情勢で大編成の作品になかなか触れることが叶わなかった高校生の皆さんと一緒に演奏し、「大人数で奏でる音楽ならではの楽しさを共有したい」というコンセプトのもと合同ステージを企画しました。福島の若い世代の音楽家たちとユージェント・フィルの化学反応が生み出す、宇宙のように広がる「音楽の無限の可能性」を感じていただけましたら幸いです。

福島の地で、また皆様にお会いできることを心より楽しみにしております。

代表 三宅雅也

# Jugend Philharmoniker in Fukushima 2024

## ユージェント・フィルハーモニック 第4回福島公演

2024年9月8日(日)

13時15分開場／14時00分開演

### ふくしん夢の音楽堂

(福島市音楽堂) 大ホール

アクセス：福島駅東口より車で10分、福島交通バス「日赤駅」より徒歩5分

R. シュトラウス／オーボエ協奏曲

C. サン＝サーンス／交響曲第3番 ハ短調 Op.78《オルガン付き》

G. ホルスト／組曲《惑星》より「火星」「木星」

J. シベリウス／交響詩《フィンランディア》

オーボエ独奏＝福田有花 指揮＝安斎拓志

全席自由 1,000円

●このチラシをお持ちいただくと、4名様まで無料にてご入場いただけます。

問合せ：090-3570-9831 (三宅)

公式ホームページ <http://jugend-phil.com>

X (旧Twitter) @jugend\_phil

Facebook [www.facebook.com/jugendphil](http://www.facebook.com/jugendphil)

Instagram @jugend\_philharmoniker

YouTube [www.youtube.com/user/jugendphil](http://www.youtube.com/user/jugendphil)



オーボエ独奏 福田有花

三重県出身。13歳よりオーボエを始め、2016年東京音楽大学を卒業。これまでにオーボエを宮澤香、山本直人、古部賢一、安原理音、齋藤勇二に師事。ハンブルクにてパウルス・ファン・デア・メルヴェのマスタークラスを受講。また室内楽を四戸世紀、水野信行、宮本文昭に師事。第11回大阪国際音楽コンクール第2位。大学在学中にオーディション合格者によるソロ室内楽コンサート、堀米ゆず子オーケストラアカデミー演奏旅行に出演。現在は商社に人事として勤務。2019年よりユージェント・フィルハーモニック団員。



指揮 安斎拓志

福島県出身。3歳よりピアノを故大内洋子氏に師事。福島県立福島高等学校管弦楽団でヴァイオリンを始め、これまでに木全利行、篠崎史紀の両氏に師事。立教大学交響楽団でコンサートマスターを務める傍ら指揮活動を始め、これまでに故佐藤功太郎、故湯浅勇治、河地良智の各氏らに師事。2006年にユージェント・フィルハーモニック創設。2012・2013年にアイドルグループ嵐のコンサート「アラフェス」のオーケストラと合唱を指揮。現在ユージェント・フィルハーモニック音楽監督。2017年からは全日本高等学校オーケストラ連盟の高校オーケストラ支援事業を担当し、青少年の音楽教育にも力を入れている。

### ユージェント・フィルハーモニック

一般財団法人日本青年館と全日本高等学校オーケストラ連盟の音楽行事（全国高等学校選抜オーケストラフェスタ、全日本高等学校選抜オーケストラ・ヨーロッパ公演、日本ユングオーケストラ・ヨーロッパ公演）に参加したメンバーが中心となって2006年3月に創設された。全国各地の高校や大学オーケストラ出身のプレイヤー約80名が集まり、3月の定期演奏会を中心に、福祉施設や普段生のオーケストラに触れる機会のない農村への訪問演奏、地方公演、行楽施設の各種イベントやテレビ番組での依頼演奏など幅広い活動を行っている。音楽的に、そして人間的に成熟した団体作りに励みながら、「アマチュア・オケだからできること（≠プロオケには出来ないこと）」を追求している。